

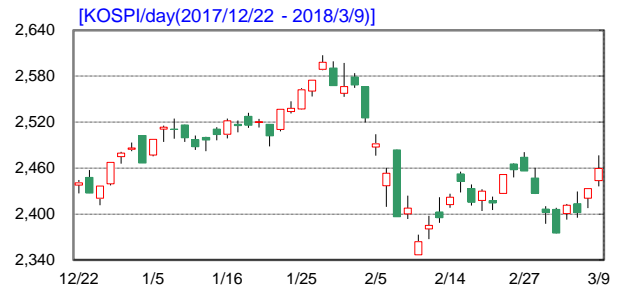


【韓国】 総合指数は週間で2.4%高と反発、今週は物価統計などの指標に注目

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.4%高と反発。総じて買い戻しが優勢な展開だった。前週にトランプ米大統領が発表した鉄鋼とアルミニウムの輸入制限に対する警戒感から週明け5日は節目の2400ポイントを下回った。ただ、その後は過度な貿易摩擦に至らないとの観測が浮上して投資家心理が改善する中、南北首脳会談の開催決定や米朝首脳会談の開催見通しが伝わり、地政学リスクへの警戒感も後退した。鉄鋼大手のポスコはさえない値動きを続けたが、サムスン電子やSKハイニックスなどハイテク株を中心に買い戻しが進み、2月5日以来約1カ月ぶりの高値を付けて週の取引を終えた。今週は米株式市場の動向や国内の主要経済指標の発表をにらみながらもみ合う展開か。14日に物価統計や失業率、マネーサプライが発表される予定。

▼指数チャート

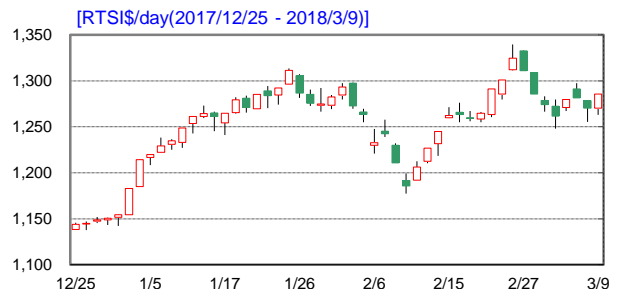


【ロシア】 RTS 指数は週間で1.9%高と反発、今週は米朝融和で上値追いも可能か

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で1.9%高と反発。8日が休場で4営業日の取引となる中、おおむね堅調に推移した。前週末に下落幅を広げたものの、原油価格の反発もあり、週明けから買い戻しが優勢となった。5日に発表されたマークイット・サービス業 PMI が市場予想の55.1を大幅に上回る56.5となったことも支援材料。ただ、上昇一服後は狭いレンジでの取引が続いた。週中は海外株安と原油安に加え、8日が休場となるため売り優勢となり、一時マイナス圏に沈むなど弱含んだ。一方、9日の後半に米雇用統計で強い結果が確認された後は、原油価格の急速な反発にも後押しされて上げ幅を拡大。休場前の7日終値比1.2%高の1285.53ドルで取引を終えた。今週は米朝融和ムードが維持できれば、上値追いも可能か。

▼指数チャート

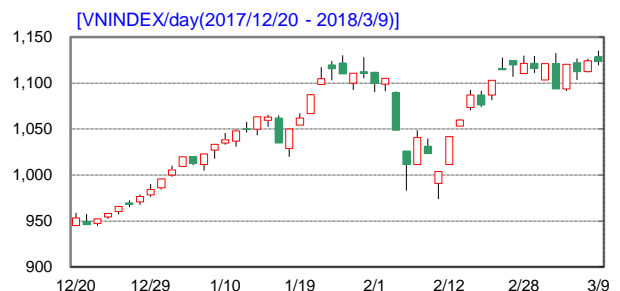


【ベトナム】 VN 指数は週間で0.2%高と4週続伸、今週は利益確定売り優勢か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.2%高と小幅に4週続伸。週明けは堅調だったが、大引け間際から下落基調に転じると、週半ばまで弱含んだ。また、週末も終盤に利益確定売りに押され、週間の上げ幅を縮めた。セクター別では原油安を受けてエネルギー株が売られたものの、好調な不動産や食品などが指数を支えた。週を振り返ると、5日に前週末比変わらずで寄り付くと上値を伸ばし52週高値を更新したが、引けに掛けて急落。8日までは前週末終値を下回って推移する場面も多く、総じて弱含んだ。9日には米朝首脳会談が行われる見通しで買い優勢となり、場中に52週高値を再び更新。ただ、週末の持ち高整理に押され、前日比0.1%安の1123.41ポイントで取引を終えた。今週は52週高値を更新したことで利益確定売り優勢か。

▼指数チャート

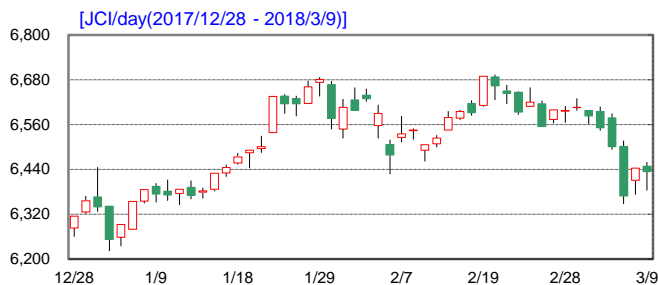


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.3%安、今週は 2 月の貿易統計に注目

ジャカルタ総合指数は週間で 2.3%安と続落。米国による鉄鋼とアルミニウムの輸入制限を巡る動きが株式相場に影響した。週初の 5 日は世界的な株安を背景に続落。その後も買い材料が少なく、7 日には終値ベースで前日比 2.0%安と約 2 カ月ぶり安値を更新した。8 日は米国の輸入制限で一部の同盟国を関税の引き上げ対象から除外する可能性が示され、幅広い銘柄が買われたことで指数は前日比 1.2%高と 5 営業日ぶりに反発。ただ、勢いは続かず 9 日は再び反落して取引を終えた。今週は 15 日に 2 月の貿易統計が発表される予定。2 カ月連続で赤字だった貿易収支が黒字を回復すれば指数を下支えしそうだ。

▼指数チャート

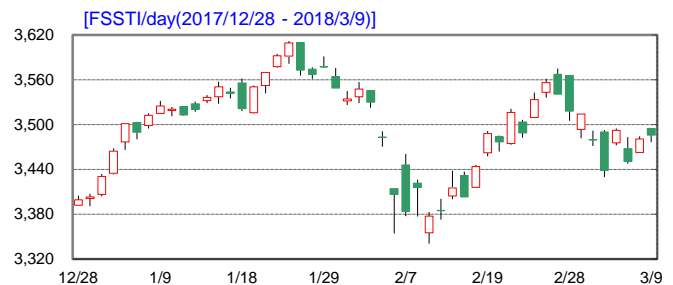


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.2%高、今週は 16 日に 2 月の非石油地場輸出発表

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.2%高と反発。週後半の上昇が指数を支えた。週初の 5 日は鉄鋼株が指数下落をけん引。前週末の取引終了後に発表された 2 月の製造業 PMI が市場予想を下回ったことも重しだった。一方、6 日は米与党内から鉄鋼とアルミニウムの輸入制限を非難する意見が示され、貿易戦争への警戒感がやや和らいだことを受けて指数は前日比 1.6%高と 6 営業日ぶりに反発。7 日は金融株が売られて前日比 1.2%安と反落したものの、8 日は中国の 2 月の輸出が市場予想を大幅に上回ったことが好感されて買い戻された。今週は 12 日に 1 月の小売売上高、16 日に 2 月の非石油地場輸出が発表される。

▼指数チャート

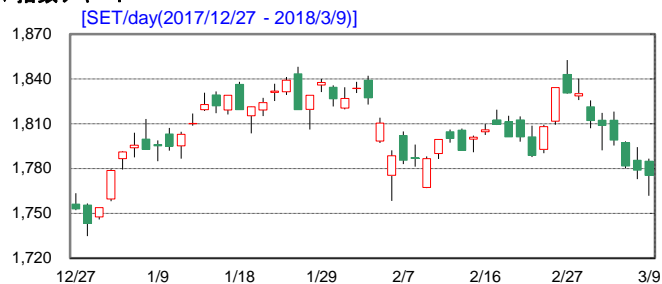


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.0%安、週末まで 8 営業日続落と低迷

SET 指数は週間で 2.0%安と 4 週ぶりに反落。買い材料に乏しく、前週から 8 営業日続落と低迷した。5 日は、米トランプ大統領が鉄鋼とアルミニウムの輸入関税を引き上げる方針を示したことによる警戒感で前週末の NY ダウが 4 日続落した流れを引き継ぎ、売り優勢でスタート。6 日はエネルギー株が売られ、終値で 7 営業日ぶりに 1800 ポイントを割り込むと、その後も軟調な展開が続いた。9 日は 2 月の米雇用統計発表を控えた様子も加わり、終値で 17 年 12 月末以来の安値を更新した。今週も国内の重要イベントが少なく、前週末の NY ダウが雇用統計の好調を受けて大幅続伸した効果が期待される。

▼指数チャート

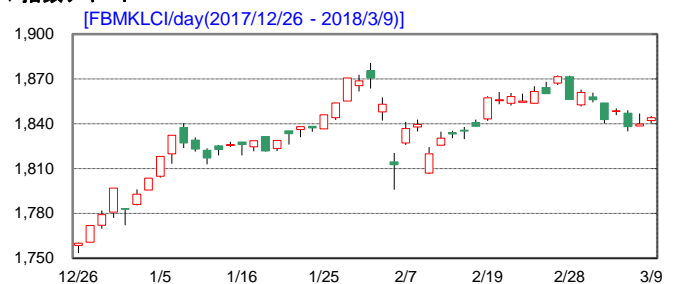


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.7%安、今週は 1 月の経済指標に期待

クアラルンプール総合指数は週間で 0.7%安と続落。外部要因に左右された 1 週間だった。週初の 5 日は 1 月の輸出入額が市場予想を上回り、ともに前年同月比で 2 桁増だったものの指数は続落。6 日は 3 営業日ぶりに反発したが、7 日は輸入制限反対派のコーン米国家経済会議委員長が辞任したことが不安材料となり、反落した。同日にマレーシア中銀が発表した政策金利は 3.25%に据え置かれている。8 日は中国の 2 月の輸出が前年同月比 44.5%増だったことが好感されて反発すると、9 日も続伸して引けた。今週は 13 日に 1 月の鉱工業生産と小売売上高が発表される予定で、市場予想から上振れすれば好材料。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合もあります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。